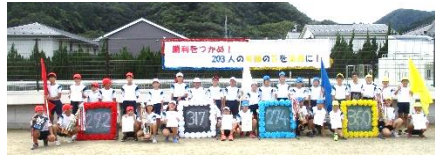




高浜小だより



発行日
令和5年3月17日
高浜町立高浜小学校
—卒業記念特集号—

卒業おめでとうございます！

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。卒業に際して、一言お祝いの言葉を贈ります。

1年生 集合写真



■人に感謝する気持ちを忘れないで

ここまで大きくなったのは決して自分一人の力ではありません。温かく見守り育ててくださった人がいたからです。ご家族のみなさん、そして周りの人に感謝する気持ちを持てる人になってください。

2年生 春の遠足



■「斌」(ひん)と「恕」(じょ)

これから進学する中学校での3年間は、体が急に成長し、心も「ひとり立ち」をしようとして、不安になったり悩んだりする時期です。実り多き中学校生活を期待して、次の2つの言葉を紹介します。

1つ目は、「斌」(ひん)。「文武両道」という意味です。「二兎を追うもの

は一兎も得ず」と言われますが、そんなことはありません。これからますます成長し、限りなく伸びゆくみなさんなら、必ずできるはず。二兎どころか三兎、四兎をぜひ追ってください。また、「斌」という言葉は、「外見の美しさと内面の実質が調和している様子」も表しています。みなさんの可能性は無限大。自らの力で可能性や未来を広げてください。



3年生 校外学習

2つ目は、「恕」(じょ)。「思いやりの心」を意味します。「思いやり」は、お互いの心に希望を与え、心を豊かにし、支え合い励まし合える心の友をつくるものです。私たちは生活していく中で、必ず相手が存在し、全てのことで人とかわって生きています。そのかわりの中で、「思いやりの心」を持つことはとても大切です。この「思いやりの心」を育てるためには、読書に励むなどして、人としての感じ方や考え方を学ばなくてはなりません。また、日頃の生活の中で、友だちと助け合ったり、協力したりして、共に喜び、共に悲しむ体験を重ねていくことも必要です。

■幸せに生きるために

「人とつながる力を伸ばすこと」

中学校では、周りの人たちとやりたいことや考え方が違ったり、時には理解できなかったりすることもあるでしょう。それでも、相手のいいところを探そうと

いう気持ちでかかわれば、つながり方は変わってきます。「絶対無理！」と他者とのつながりを切ってしまうことは、「自分が成長するのは絶対無理」と言っているのと同じことです。人とつながる力は、自分を伸ばす力でもあるのです。



「自分のよさを伸ばすこと」

不得意なことやできないことばかりを見て人と比べたり、うらやましがったりする必要はありません。誰にでも好きなことや得意なこと、人から喜ばれることがあります。それが、自分の「よさ」です。いろいろな人とつながりながら自分の「よさ」を探してください。

「社会の役に立つこと」

みなさんが、委員会活動や学校行事、コードモ明日研究所の学習などで見せたやる気に満ち溢れた主体的な姿、みんなのためにがんばる姿は、この先いろいろな場面で必ず生きてきます。思うようにならない時や投げ出したくなった時には、最後まで責任を果たした自信や誇りを思い出してください。そして、自分たちの社会をよりよい場所になるようにしていくことができる人になってください。



■「今」を大切に

この6年間は、激動の6年間でした。

小学校では、道徳や外国語が教科になり、一人一台のタブレット端末が導入され、プログラミング学習も始まりました。世界に目を向けてみても、他国では悲しい戦争が起き、大きな自然災害もありました。そして、「新型コロナウイルス感染症」。3年前を振り返ってみてください。だれが、今の世の中を想像できたでしょうか。

しかし、みなさんが経験してきたこと、学んできたことは、これから先の長い人生にとって、決して無駄になることは一つもありません。なぜなら、みなさんは、さまざまな個性をもつ友だちと過ごす毎日がいかにかげがえのないものか、学校に来て一緒に学んだり遊んだりすることがいかに貴重なものであるかを経験し、実感することができたからです。

これからみなさんが生きていく未来がどうなっていくのか、だれにも分かりま



せん。だからこそ、もっともっといろいろな違いや個性をもつ人とつながり、どんな出来事にも対応する力を身につけていくことが大切です。そんな社会で生きていくために、「今」というこの時を大切にすること、自分も人（他者）も大切にすることを忘れないでください。

これから始まるみなさんの未来、中学校生活は、どのようにも創っていくことができます。「今」この時を大切に、中学校でも充実した3年間を過ごしてください。33名の卒業生のみなさんに、心からエールをおくります。